

## 中東時事アップデート2019年4月26日

アミール・ツアルファティ  
- ルーマニア訪問・中東情勢 -

みなさん、シャローム。アミール・ツアルファティです。ルーマニアの首都、ブカレストよりライブを行なっています。ルーマニアを訪れるのは、今回で2回目です。

ミニストリーは、とても祝福されて、素晴らしい時間でした。私は、ほぼ毎日のように、ここの異なる教会でメッセージをしていました。それから特記すべきは、教会が人でいっぱいだった事です。日曜日に教会が人でいっぱいでも私は驚きませんが、月曜、火曜、水曜日、それから木曜日に教会がいっぱいなのは、驚きでした。今日でさえ、今日は教会ではありませんが、私は家庭集会に参加して、そこでメッセージをしました。そこに、ルーマニアの人と結婚しているイスラエル人まで来ていて、ヘブル語の聖書を開いて、預言書から伝道する事が出来たのです。それと、もちろん新約聖書も。もちろん私の証もシェアしましたし、素晴らしい時間でした。

私は、この週末がとても楽しみです。ティミショアラ、それからアラド市、大きなイベントが3つあります。その内の一つは野外で数千人、他のものは小さめで数百人ですが、私は、すごくワクワクしています。

ここルーマニアでは、他の福音派、カトリックの世界より1週間遅くて、ここでは今週が受難週で、ルーマニアでは、今日が聖金曜日、復活祭の日曜日は、この日曜です。ですから私は、先週の日曜は、復活祭ではなく、棕櫚の聖日について教えました。ですから、実際、ヨーロッパのある地域で復活祭を祝って、それからルーマニアに来ると、その週末に、もう一度、復活祭を祝えるのです。非常に興味深いです。

ここでの伝道は本当に素晴らしくて、今回、主は私に、主の来臨が近い事だけではなく、ルーマニアの教会を悩ませている“宗教の霊”に反対して語るよう、導かれました。そして、「宗教は答えではない」「主との関係が答えである」という事実を語りました。

いくつかの教会は非常に厳しくて、厳格な規則があるのです。女性が片方に座り、反対側に男性が座るとか、女性は全員が頭に被り物を被っているとか、あちらこちらに規則や決まりがいくつもあるのです。そして、あまりにも多くの規則がある事から、「全ての規則を守っているから、本当に新生する必要はない」と実際に思ってしまうのです。そこで分かち合える事が出来たのは、とても素晴らしかったです。ヨハネ3章3節の、イエスが、ニコデモに言われた事だけでなく、さらにイザヤ書1章で、神は宗教には興味がなく、主は、人々が理解する事を望んでおられる。みんな新しい心が必要で、新しい霊が必要だという事、それからもちろん、ヨハネ3章3節に行って、「人は新しく生まれなければならない」という事。結構な人数が救われて、かなりの人が応えました。

ただ、何よりも励まされたのは、私が、他の何でもなく、宗教を非難するメッセージをする事、そして、私が、第二の誕生日があるかどうかを問いかける事を知りながら、牧師達が、それぞれの教会の門戸を開いてくださった事です。という事で、本当に素晴らしかったです。

そして、毎回礼拝の後は、みなさんからQ&Aを頼まれて、どの質問も見事で、素晴らしかったです。だから、どこの教会でも1時間延長してQ&Aを行いました。これがものすごく良かったのは、3歳から85歳まで、みなさんがそこに留まって、そして、みなさんが耳を傾けているのです。とにかく、それがすごかったです。

ここは素晴らしい国です。人々は素敵で、食べ物は美味しいし。明日のティミショアラとアラドも、また楽しみです。そこで最後になります。以上が、ここルーマニアでのミニストリーについて報告です。

では、時事情報に入りましょう。

もちろん、みなさん、スリランカで起こった恐ろしい大虐殺の事は、覚えていらっしゃるでしょう。連続爆破が、ISISに所属するテロリストによって行われました。それについて、インドがスリランカに警告しただけではなく、アメリカもスリランカに警告しましたし、イスラエルもスリランカに警告しました。テロリストの個人情報分かっています。テロリストの意図も分かっています。皆が失敗した事実は、最初の24時間、誰もイスラミック・テロである事を口にもしなかったのです。私は驚愕しました。誰もが知っていたのですから。諜報当局の一つ一つから、我々はイスラミック・テロを相手にしている事は分かっていました。それだけでなく、彼らは、今年の初めにニュージーランドのクライストチャーチで起こった事の復讐として、これを計画している事を私たちは、はっきりと知っていたのです。

非常に興味深いのは、ニュージーランドのクライストチャーチで、何かが起こった時は、国全体が、今やイスラム教徒に優しくなり、国全体がイスラムに寛容で、イスラムをなだめ、金曜日には、実際、ラジオで、イスラムの為に祈るように呼びかけられました。驚くべき現象でした。それが今回の件はクリスチャンが攻撃された事、そしてスリランカで起こったため、ヒラリー・クリントンやバラク・オバマといった人々は、彼らのツイッターで、「クリスチャン」と書く事も拒み、彼らが言ったのは、「イースターを祝う為に来ていた人々」。彼らは「クリスチャン」という言葉すら、もはや使いたくないのです。これには吐き気を覚えます。これが、確実に世界中で起こっている事です。

ムスリムによるクリスチャン攻撃は、完全に敷物の下に放り込まれています。事実、ノートルダムのは、数ある内の一つに過ぎず、フランスでは一年以内に800以上の教会が冒瀆されているか、もしくは焼かれています。それらのことを危機だと感じる人は、誰もいません。「あれは、ただの電気回路のショートだよ」とか、「ただの事故だよ」と。彼らは見て見ぬ振りをしています。そのツケを払う事になりますよ。なぜなら、私達は、実際に起こっている事を目にしていますから。

さて、あのあとに起こった事について、お話しします。ジャレッド・クシュナーが、興味深い声明を発表した事が分かっています。私は驚きませんでした。何度も言うように、非常に多くの人達が、「トランプがエルサレムを分断しようとしている」とか「トランプは、パレスチナ国家を提案しようとしている」など、様々な事を予測しようとしています。そして私はずっと言って来ましたが、アメリカ大統領の意図が、そもそもパレスチナ国家を作り、エルサレムを首都とする事であれば、彼は絶対に大使館をエルサレムに移転させて、激しい批判を浴びるような事はしなかったでしょう。

ジャレッド・クシュナーが言いました。「『2国解決策』という考え方は、すでに20年以上も使い果たされている。私達には、新しいものが必要なのだ。新しいアプローチ、新しい方法が必要だ。なぜなら、私達は平和に至る為に何か異なるものが必要であり、私達は試してみるべきだ。」それをパレスチナ人達は、非常に危惧しているのです。

みなさんに、お伝えします。ベンジャミン・ネタニヤフが首相として前任期の間成し遂げた、最も偉大な業績の一つは、彼は文字通り2つの事を交渉の台から取り除きました。彼はエルサレムを交渉の台から取り除き、それを首都として承認するよう、ドナルド・トランプを説得しました。それから彼は「2国解決策」を交渉の台から取り除きました。もはや「2国解決策」については話しません。もちろん、ヨーロッパは2国に拘っていますよ？しかし、それは成功しません。

みなさんに、一つお伝えしておきます。ここだけの話ですよ？たとえ、イスラエルが「2国解決策」に同意したとしても、パレスチナ人自身が同意しません。彼らは、自分達の間ですら同意していませんから。ですから、「2国解決策」は消えました。ただ興味深いのは、この協議の一部として、周辺のアラブ諸国に居る、自身を「難民」と自称するパレスチナ人達は全員、協議の一部として、それぞれの国の国籍が与えられます。ですから、パレスチナ人の帰還権利さえ交渉の台から取り除かれました。

トランプ大統領によって、次から次へと交渉の台から取り除かれるのを見るのは、かなり驚愕です。それだけで足りなければ、彼はハーグの国際司法裁判所に行って、彼らを脅しました。「これからも継続して、テロと戦っているイスラエル人とアメリカ人を狙う国は、アメリカ合衆国に入国出来ない。」すると、見てください。彼らはアメリカ人を起訴も捜査もしないと決断したのです。彼らが、どれほど崩壊しているか分かるでしょう。ですから、パレスチナ人達がいつも持っていた唯一の武器、国際裁判所に駆け込む事も、この驚くべき大統領によって、彼らから取り上げられました。その為に・・・

今は過ぎ越しの祭りの期間で、「過ぎ越しの祭り」は最初の夜で、それから8日間は「種なしパンの祭り」です。イスラエル人達は国中どこも皆休暇で、ネタニヤフ首相は、奥さんと2人の息子さんとを連れてゴラン高原ツアーに出かけました。今、イスラエル北部は、本当に綺麗です。小川に水が溢れて見事です。そのツアーの中で、ネタニヤフ首相が言いました。「ゴラン高原の新しい居住地に、ドナルド・トランプにちなんだ名前を付けるのがふさわしい。」これは、なかなか興味深いですよ。他の国々が、これをどう受け止めるのか想像がつかます。

ここから、今日、私達が耳にしたニュースに続きます。今日、みなさん、もしこれが、エゼキエル38章、39章でなければ、一体何でしょうか。今日、トルコ、ロシア、イランが、ゴラン高原におけるイスラエルの主権を承認したアメリカ合衆国の決断を非難しました。彼らはシリアの件で、カザフスタンで2日間の会議を行っていたのです。みなさん、イラン、トルコ、ロシアが、カザフスタンに集まって、ゴラン高原におけるアメリカの決議を非難しました。

次に、これを見てください。これは、彼らの新しい手です。「ゴラン高原に私達は敵対する。」「イスラエルは、ゴラン高原における主権を持つべきではない。」ここに注目してください。3カ国が、今や一つの問題を上げていて、それはイスラエルの北部にあります。そして彼らは、そこに居ます。時が来れば、彼らがやって来るのは、唯一、あの場所以外、私には考えられません。あの地域です。ですから、今、私達が目にしているのは、かなりものすごい事です。

さてイランは、ものすごく苦しんでいます。トランプ大統領は、まもなく、新しい制裁を加えようとしています。彼は石油貿易を完全に抑圧し、封鎖してしまいます。ですから現在、地域全体がパニック状態です。これがかなり驚愕で、これまででは何とか制裁を逃れて、イランから石油を買える国があったかも知れませんが、今は、全ての国が言い逃れが出来ません。だれもイランから石油を買う事が出来ません。もし買うなら、アメリカの制裁に直面します。言い換えれば、「イランと取引するなら、我々は、あなた方とは取引しない。」全ての国が、イランと取引するよりもアメリカ合衆国と取引する方を選ぶのは間違いありません。ですから彼は、現在、イラン政権を抑圧しているのです。

そして、これがなかなか面白い事に、イランの大統領ロウハーニーが示唆しています。彼は、アメリカ合衆国と対話する用意があるそうで、「もし、全ての制裁が解除され、過ちに対して謝罪があるなら。しかし、その前に我々は、アメリカに、その行いを後悔させる必要がある。」と。彼は、週に一度の定例閣僚会議で発言しました。私の知る限り、これは2日前です。見てください。この事になると、イラン人達はどれほど頑なで、頑固で、高慢になるか。

さて、現在、イランがパニックになっている理由の一つについて、お話しします。彼らには、もはや販売する石油がないという事実、彼らは石油を売れません。しかし、それ以上に、2~3ヶ月前の事です。これは私達は既に知っていた事ですが、極秘であった為、誰もそれについて語る事が出来ませんでした。失礼しました。2~3週間前です。イランのイスラム革命防衛隊のAli Nasiri元准将。以前はスパイ防止組織のトップでした。その彼が、イランを逃亡したと報告されています。と言っても、彼はただ逃亡しただけでなく、極秘文書の束を持って、です。イランの計画、イランで話された事、資金の流れ、テロ、秘密口座、そのほか全ての証拠を持って。

イランは、現在、大混乱しています。なぜなら、彼らは経済的に制圧されているだけでなく、軍事的に、彼らには大した事が出来ません。シリアでは、彼らは左右から攻撃を受けています。それが今は、彼らの諜報さえ、彼ら自身の身内から裏切られ、彼は、実際、西側に亡命しています。現在のAli Nasiriの居場を私には言う事が出来ませんが、一つ、私に言えるのは、彼は、私達に与える為に、非常に素晴らしい情報を入手しました。

非常に興味深いことに、エジプトの大統領アッ＝シーシーが、全面的な憲法の修正において、有権者の承認を得て、大統領が2030年まで就任する事が認められました。ですから、この事実を受け入れてください。アッ＝シーシー大統領は、おそらく私達が出て行くまで就任しているでしょう。

もう一つ、皆さんにお伝えしておきたいのは、私達は、現在、シリアで大きな試練を目にしているという事。

ロシアは、今日、フメイミムのロシア空軍基地が15発のロケット攻撃を受けました。それらは、イスラエルから飛んで来たものではありません。それらは北部から飛んで来ました。スンニ派の飛び地、トルコとの国境の横から飛んで来たのです。ですから、私達が目にはしているのは、バッシュール・アサドが、彼は、以前は2本の杖を使って歩いていましたが・・・基本的には「ロシアの杖」と「イランの杖」です。ロシアは、彼のイランとの交友関係が気に入らず、イランは、彼らの全ての負債を返していない事が気に入りません。ですから彼らは、もはや彼を信頼する事が出来ず、彼らは、もう石油を売る事が出来ません。

みなさん、どうか私のインスタグラムをフォローしてください。私は、ガソリンを得られる事を期待して、ピンを手にして立っているシリア人達の写真を投稿しています。現在、シリアにはガソリンがありません。イランはガソリンが尽き、電気が尽きていて、シリア人の10人に8人が貧困ラインを下回っています。現在、シリアは絶望的で、彼らは自分達の指導者に苦しめられているのです。もちろん、イランは助ける事が出来ません。ヒズボラは、今日、大きな看板を掲げた事が報告されています。ヒズボラは資金が底を尽き、イランは、もう何も与えません。ヒズボラは、自国民にお金をせびっているのです。みんなが、行く末を考え直しています。

ただ、私が思うに、今日、私が読んだ記事の中で、最も興味深いことの一つは、ASharq Al Awsatという、ロンドンで発行されている新聞の、Amir Taheriという人物が執筆した記事です。Amir Taheriは、イランで、"Daily Kayhan"の編集長を1972年から1979年まで務め、彼はまた、他の場所でも働いていました。もちろん現在は、1987年以来、そこに居ます。そこで、彼が書いた事を見てください。すぐに訪れるキリストの来臨と、来たるゴグ・マゴグの戦争との関係にワクワクしている人は、みんな、聞いてください。彼の発言をよく見てください。

"先月、イスラム共和国の最高指導者アリー・ハーメネイーは、「これからの40年で、新イスラム文明を創設する」という声明文を公表した。"

これを見てください。

"宣言の内容は、次の推測が基になっている。「メディナ、後に、アリー・イブン・アビ・タリブがカリフの時代のクーファで、完全なる栄光を輝かせた、元々のイスラム文明が内外の敵によって破壊されてた。」"

これを見てください。

"「ハメネイーの議論は、1991年4月にカーツームで行われた、最初の PAIC(アラブ・イスラム人民議会)で議長を務めた、スーダンのイスラム主義者であった故Hassan al-Turabiが提示した解析と同調している。ハーメネイーの宣言が、今公開されたのは、偶然かも知れないが、世界中の一流イスラム理論家や活動家を500人以上魅了した、カーツームの集会から、ほぼ丸28年後だ。PAIC(アラブ・イスラム人民議会)に集まった男達は、彼らの「イスラムのビジョンに従った、世界の再構成」という彼らの夢の実現まで、30年の期間を設けた。この PAIC(アラブ・イスラム人民議会)のプログラムは、イスラエルの根絶、アメリカ合衆国の

崩壊、それとイスラムが主要宗教である、全57カ国で、“真のイスラム”政権を創設する事を含む、野心的な目標を含んでいた。」”

つまり、この30年の期間が終わるまで、あと2年です

みなさん、これはイラン人達の霊的、宗教的な信念です。これからの2年の内に、彼らはアメリカが滅び、イスラエルが滅ぶのを見なければなりません。アメリカが崩壊し、イスラエルが滅び、そしてシーア派イスラムを拡大する。これは、なかなか興味深いです。28年前、彼らは30年の期間を設けたのです。そして、イランの大統領が言っています。「これを打ち立てるのに、あと2年ある。」

ところで、ルーマニアの人達に聞かれた事の一つは、

「アミールさんはどうして、反キリストが素早く興って、ゴグ・マゴグのエゼキエル戦争がそこまで迫っていると、それほど確信しているのですか？」

「ヨーロッパの状況が、あと500年続く事は有り得ませんか？」

「シリアの状況が、あと何年も停止する事は有り得ませんか？」

そこで、私は言いました。「その日、その時は誰にも分かりません。」

もちろん、私には分かりません。ただ、私達には“時と季節”が分かります。また、イエスが弟子達に告げられた、終わりの時の最大のしるしを私は知っています。

マタイ24章、ルカ21章「いちじくの木が芽吹く」。イスラエルが故国に戻ります。

私は今日、家の中でイスラエル人に話をしている、彼に言ったのです。

イスラエルの誕生が、どれほど奇跡的であるか。

2千年の間、私達は消えていたのです。ユダヤ人自身が、自分達が戻るなんて有り得ないと思っていたのです。彼らは、いたるところに定住していて、上手くやっていたのです。彼らはそこで勉強し、商売をして、その地に深く根を下ろしていたのです。大量虐殺が起これなければ、そこは自分達の場所ではないと、彼らは納得しませんでした。他の何かではダメだったのです。彼らは、「あそこは終わった」と確信していたのです。イスラエルは荒野で、蚊と沼しかない。どう頑張っても、イスラエルがまた息を吹き返し、人々が世界のあらゆる場所から集まって来るとは考えられなかったのです。イスラエルが再び興り、世界大国第8位になるなんて、彼らは一度も予測した事がありません。それが今、世代は、最も驚くべき変革を見ているのです。最初の2年ほどを何とか生き抜いた国から、世界大国の一つになったのを。私達は、その世代です。私は、私達が「過ぎ去らない世代」だと信じています。

それから、彼らは私に聞きました。「あなたの生きている間にそれが起こると信じているのですか？」

だから私は言いました。「パウロが、彼の生きている間にそれが起こると考えたのなら、私も、自分の生きている間にそれが起こると考えるべきです。」

パウロがテサロニケの人への手紙を書いた時、彼は、こう言いました。

キリストにある死者が、まず初めによみがえり、次に、生き残っている“私たち”が、たちまち彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。（第一テサロニケ4:17）

もし彼が、それほどにワクワクして、すっかりその備えが出来ていたなら、私達、最も重要な終末のしるしを見ている世代は、どれほど…。私達は、イスラエルが故国に戻るのを見えています。私達は、エルサレムが彼らの手に戻るのを見えています。私達は、第三神殿の青写真が描かれるのを見えています。ヘブル語が復活し、イスラエルの人々が世界中から戻って来るのを見えています。私達は、これら全てを見ているのです。荒廃した不毛の地が回復しました。

こういった事の全てを、パウロは見る事が出来ず、彼の生きていた時代には、イスラエルは独立していませんでした。彼の時代はローマの支配下でした。私達は今、独立しています。人は理解していませんが、いちじくの木は、イスラエルの国家的特権の象徴です。もし、いちじくの木が芽吹く事が出来なければ・・・イエスの時代、イスラエルの国家的特権は、彼らは、独立していませんでした。確かに、彼らの首都はありましたが、ローマが、そこに居たのです。そしてイエスは、その木の事を言いました。特定のその木です。イエスの時代のイスラエルは、決して独立国家にはなれなかったのです。むしろ、さらに悪い崩壊が彼らの上に降りかかったのです。

彼は、エルサレムの崩壊を予測し、神殿の崩壊を予測しました。私達が、その世代です。

私達が見ているのは、オリーブの木ではありません。オリーブの木は、イスラエルの宗教的特権です。それは、常に私達にあります。ぶどうの木でもありません。ぶどうの木は、まだそこにあります。異邦人も、ぶどうの木に接ぎ木が出来ます。神は、彼らをオリーブの木に接ぎ木されました。しかし、いちじくの木には、だれ1人として異邦人は接ぎ木が出来ません。いちじくの木は、イスラエルの国家的特権です。いちじくの木とは、私達が国土を持ち、首都を持ち、国旗を持ち、国歌を持ち、パスポートを持っているという、そういった事実です。異邦人は、その一部ではありません。それはイスラエルです。だから、「いちじくの葉が出るのを見たら」と聖書が告げていて、それはつまり、みなさん異邦人、世界中の信者達が、「イスラエルが息を吹き返すのを見る」という意味です。“靈的”でなく、“宗教的”でもなく、“国家”です。世界一の大国が、エルサレムをイスラエルの首都として承認したのです。これは政治的です。これは国家的であって、宗教的ではありません。大使館が移された時、これらの事を見たなら、終わりが戸口まで近づいているのが分かるのです。遠くにあるものではありません。

ですから私は、ただ御言葉だけに希望を置いているものではありません。私達は、御言葉とその成就を基に、希望を置くことの出来る、最初の世代です。だから私は、ヘブル10章に書かれている事が大好きなのです。

### 「かの日が近づいているのを”見”て…」 (ヘブル10:25)

私達は、唯一、「かの日が近づいている」のを、この目で「見て」いる世代です。確かに、その日その時は、私達には分かりません。しかし、どうして、最も重要な事が起こっているのに、それに対して盲目になれるでしょう。どうして、戦争が起こりつつある事実、彼らが、私達に攻めて来る策略を練っている事実、盲目でいられますか？

ヨーロッパが崩壊していて、贖い主を待ち焦がれている事実に、どうして盲目でいられますか？アメリカを崩壊させ、イスラエルを滅ぼそうとするイランの意図に、どうして盲目でいられますか？そして、はるかイランから地中海まで、シーア派イスラムを配列させようとする動き。ゴラン高原でのロシアの意図に対して、どうして盲目でいられますか？再び皇帝になろうとする、トルコの意図に対して、どうして盲目でいられますか？リビアが崩壊している事に対して、どうして盲目でいられますか？今日でさえ、さらに戦いが増し、さらに多くの飛行機が撃墜され、さらに多くのロケットが両方から飛んで来て、リビアの路上で何百人という人達が死んでいます。この2週間ほどのスーダンの崩壊が、どうして見えないのでしょうか。これら全ての国々が、私達の周辺にあるのです。これらは、500年は持ちません。確実に・・・よく分かりませんが10年も持ちません。

私には、それが何時かは分かりませんが、私に一つ言えるのは、私は、それが私の生きている間に起こると、希望を超えて確信しています。これが私の希望で、その信念を持って、私は世界中に出て、御国が近づいていると教えているのです。そして、備えをするようにと。

今日、ルーマニアである人が言ったのは、「アミールさん、では私達は 何をすれば良いのですか？」だから私は言いました。「私達は3つの事をしなければならない。」

私達信者は、正しい生き方をしているか 確認しなければなりません。私達は、福音を広めなければなりません。世界中の迷い出た人々に福音を広めるのです。何故なら、これが全てですから。そして私達は、互いに支え合わなければなりません。

残念ながら、一つ、お伝えしたい事があります。クリスチャン達は、おたがいに斬り合うエキスパートです。今は特にインターネット上で、無情で、愛がなく、誠意さえ持っていません。人に対して問題がある時、その人に対する接し方、話し方。その事に、私は本当に悲しくなります。そこで皆さんに言いますが、これら3つの事を、私達はしなければなりません。特に、ヘブル人への手紙10章が、「かの日が近づいている」と告げています。私達が全ての文脈を覚えておくのは、とても重要です。聖書は、このように告げていますから。

また、互いに勧め合って、愛と善行を促すように注意し合おうではありませんか。ある人々のように、いっしょに集まることをやめたりしないで、かえって励まし合い、かの日が近づいているのを見て、ますますそうしようではありませんか。(ヘブル10:24-25)

良い行い、愛、共に集まる事。もちろん、私達は全ての御言葉に従い、聖書的でなければなりません。しかし私達はまた、これらの事をどのように行うかも、覚えていなければなりません。ですから私が言いたいのは、「かの日」は、確かに近づいています。確かに、しるしは至る所にあります。私達は備えが出来ていなければなりません。毎週、私達は、どんどん近づいているのを見ていて、私達は、毎週、さらにもっとワクワクしているべきです。

現在、主が世界中でものすごい事をしておられると私は確信しています。3歳から85歳までの人でいっぱい教会がある国は、どれぐらいあるでしょうか。それが毎週、月曜、火曜、水曜、木曜、金曜日です。私は、これを見て衝撃を受けました。だからみなさんに言えますが、世界中で人々が飢えています。みんな真実に飢えていて、主がもうすぐ戻って来られるという希望に飢えています。彼らは宗教に辟易して、伝統に辟易しているのです。彼らは生けるまことの神の御霊が彼らの上に臨み、彼らを備えてくださる事を求めています。そして、すぐに主が来られる事に対して、彼らがワクワク出来るように。

みなさん、宗教的な人達は、キリストがすぐに戻って来られる事に対して、決してワクワクする事が出来ません。なぜなら、彼らは、いつもいつも規則にこだわって、いつもいつも非難して、破壊しますから。だからイエスは、いつもいつも宗教的になる事に反対されたのです。なぜなら、彼らは小さな事について語り、大きな凶を逃すからです。それを私達は目にしています。私はそれを、ここでも見ましたが、ほぼ世界中でそれは見られます。

みなさんの全員を励ましたいと思います。私達が、まだここに居るのには理由があるのです。理由は、私達の人生において、確かに備えをするため。福音を伝え、互いに励まし合うため。主にある兄弟姉妹として、寄り添い、互いに支え合うためです。

また、みなさんにお伝えしたいのは、主は確実に速いスピードで動いておられます。みなさんが考える以上のスピードです。私はヨーロッパの500年とか、中東の50年に期待をかけません。私が信じているのは、イラン人達が28年前に告げられた事「この30年の期間の内にアメリカを崩壊させ、イスラエルを滅ぼす」計画をしているなら、あちらでは、かなりの緊張感が高まると私は思います。そして彼らは、これを成就する事に必死になっていると私は強く思います。イランは追い詰められています。ドナルド・トランプの任期が、もう一度あれば、彼らは終わります。そして彼らは、それを知っています。ジョー・バイデンのピエロが立候補を決めましたが、これは、良いニュースですよ。何故かと聞かれるなら、彼には、ドナルド・トランプに立ち向かうチャンスはないと思いますから。ただ私が強く思うのは、闇の勢力は、あらゆる手を使ってドナルド・トランプ大統領を勝たせないようにするでしょう。いずれ分かります。

ただ、私がみなさんに言えるのは、私は超ワクワクしているという事。世はキリストに飢えています。クリスチャン同士がたがいに潰しあっている間にも、神は、はるかに大きくて、はるかに偉大です。そして私達は、神の御業を世界中で見えています。私はむしろ、それに組み込んで、それにこだわって、神の御言葉を語り、神の御言葉を教える方を選びます。だれかの家で、教会で、カンファレンスで。愛のない人と関わるよりも。彼らがおたがいに助け合っていないのは確実です。

みなさん、ご視聴くださりありがとうございます。フェイスブック、ツイッターでフォローしていただき、感謝します。インスタグラムでは、私の偽証者がいて、私のインスタグラムのアカウントのクローンを作っています。それがほぼ毎日のように、私達がブロックすれば、彼は新しい名前でやって来ます。そして常に私の写真、私の言葉を使って、人にお金を要求しています。また直接メッセージを送って、言っています。

「望みを言いなさい。私が祈ってあげよう。」アフリカの偽証者達が、アフリカの“孤児達”のために、お金を要求しています。みなさんに言うておきます。私のインスタグラムはフォロワーが4万人近くいます。彼らは、数時間の内にそれだけ得る事は出来ません。ですから、もしみなさんがインスタグラムで、私の写真付きの「Behold Israel」のアカウントにフォロワーがたった30人とか20人、そして、あなたにメッセージを送ってくるなら、それは絶対に私ではありません。それは通報しなければなりません。お願いです。ここ最近、私は数々の攻撃に遭っていて、これは、その内の一つです。この48時間の間に、異なる時に3~4回ありました。ジャック・ヒブス牧師も、フェイスブックでだれかがクローンを作って、お金を要求していました。JD牧師も、ありました。これは組織的な攻撃で、外側からの攻撃もあれば、内側からもあります。とにかく彼らは、私達が神の働きを行う事を邪魔しようとしています。神の御言葉を教え、すぐに主が戻って来られる事に、人々をワクワクさせる働きを。

どうか、私達の為にお祈りください。私達の家族の為にお祈りください。私達のスタッフの為、私達のチームの為にお祈りください。それから私達が伝道する時に敵が好き放題をしないようにもお祈りください。私は攻撃される事を光栄に思いますよ。攻撃に遭うという事は、恐らく正しい事をしているのでしょから。しかし、みなさんのお祈りは必要です。

みなさんに感謝します。トロントのカンファレンスに興味をお持ちの方は、まだ空きがあります。すでに2千人の登録がありましたが、3千人まで大丈夫です。ですので、まだ空きはあります。ウェブサイトより、ご登録ください。オーストラリアの方は、パースとメルボルンのカンファレンスが、インターネットで、すでに予約受付中です。ニュージーランドの方は、まもなくインターネットで登録受付を開始します。ニュージーランドのオークランドです。これらの地域にお住いの方は、ぜひ、ご参加下さい。励ましと神の御言葉の教え、聖徒たちとの交わりの素晴らしい時間になるでしょう。このミニストリーに対する、みなさんの友情と愛、ご支援に感謝します。

では、アロンの祝福で終わらしましょう。

『主があなたを祝福し、あなたを守られますように。主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。』民数記6:24-26

全ての理解を超える平安、唯一、平和の君から来る平安、そして平和の主でもあられる方が、今もとこしえまでも、ここでもどこでも平安を与えてくださいます。

私達の救い、イエシュアの御名によってお祈りします。アーメン！

ありがとうございます。God bless you! ルーマニアのブカレストより、I love you! シャローム！

---

メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>  
ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル  
<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>